回覧

茂原市文化協会会報

会長あいさつ

「継続は力」

茂原市文化協会会長　細谷　菜穂子

新春を寿ぎお慶び申し上げます。平素は当協会の活動にご協力いただいておりますことに感謝を申し上げます。

さて、コロナが5類になり以前の文化活動ができるようになり、73回目の茂原市文化祭もたくさんの方々にご覧いただきました。改めて御礼を申し上げます。当協会26団体の今年の活動目標として、高齢化の波に負けずに、前向きな気持ちで続けていくことをお願いしたいと思っております。いつまでも生き生きといることは素晴らしいことです。

かねがねより懸案の旧市民会館と旧中央公民館は本年7年から8年の予定で取り壊しが始まります。新たな建設については、これから市をあげて取り組んでいくことになります。

本市の公式行事、文化発表実施には是非とも必要です。皆で気運を高めましょう。

結びにあたりまして、これからも関係各位皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

茂原交響楽団

茂原交響楽団は、外房地区唯一の市民オーケストラとして1988年に誕生しました。故・衛藤五郎氏（元双葉電子工業㈱会長）の絶大なるご支援のもと、36年もの間活動を続けています。毎年2回の定期演奏会をはじめ、ファミリーコンサート、アンサンブルコンサート、依頼演奏会、茂原市制記念演奏会など、多彩な演奏活動をこれまで130回以上実施してきました。

現在、演奏会は東金文化会館という遠方の地で開催しています。できる限り早く茂原市内に新しい音楽ホールが建設され、そこで真の地元に向けた活動が再開できる日を、お客様共々関係者一同心待ちにしています。

今は不便ではありますが、ぜひ私たちの演奏会に足をお運び頂き、オーケストラ音楽の魅力を存分に味わってください。そして、楽器演奏に興味がお有りでしたら共に音楽を楽しみませんか。入団希望者をお待ちしています。

茂原市書道協会

茂原市書道協会は、今は亡き仲野熹峰先生の情熱的な呼びかけによって昭和62年（1987年）2月8日に結成し、令和7年に39年目を迎えました。

現在48名の会員で活動しています。会員はそれぞれ所属する団体や会派、社中などにより趣向や志向が必ずしも一様ではありませんが、所属団体や会派にこだわらず、互いに気兼ねなく、仲良く楽しく書道談義に花を咲かせています。

協会の年間行事として、総会（4月）、協会展（8月）、協会展の期間中に作品解説会、一般の方を対象にした書の体験コーナーを実施、研修会（10月）、懇親会があります。いずれも会員相互の親睦融和を第一にしての交流の中から、美しい書の花を咲かせる研鑽努力が続いています。

書道に興味のある方、どうぞ一緒に活動しましょう！会員一同いつでもお待ちいたしております。

茂原陶磁研究会

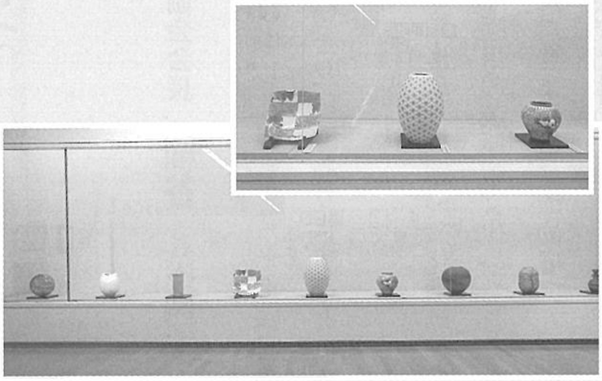
茂原陶磁研究会は、陶磁器の愛好者が立ち上げた団体です。

毎年、文化祭に会員の収集した作品を茂原公園内の茂原市立美術館・郷土資料館に展示をして、多くの来館者に好評を得ております。

作品の持つ力は、鑑賞用陶磁器だけでなく、日常生活の中で使用する花器や茶器等、幅広くあります。

また、会員の一人が小さな私設美術館を作って作品展示をしております。年に数回、定例会を開催し、作品収集等の講評をしております。随時、新規会員を募集しておりますので、興味のある方は、ぜひご連絡ください。

連絡先　丸島　0475−24−8571



日本将棋連盟茂原支部

毎月第一日曜日を活動日として、茂原市総合市民センターで将棋を指しています。

また、11月3日の文化の日には、茂原市文化祭将棋大会を開催しており、実力別に4つのクラスに分けて、熱い戦いを繰り広げています。今年度は、読売新聞社が取材に来ていただいたり、最年少の小学生（10歳）が初段クラスで優勝したりするなど、大きな盛り上がりをみせました。

そして、茂原支部の重大ニュースとして、プロ棋士の高野秀行七段が茂原支部の師範として就任いただきました。今後は、支部会員への指導をはじめ、高野先生にお力添えいただきながら、より一層将棋の普及に努めていきたいと思います。

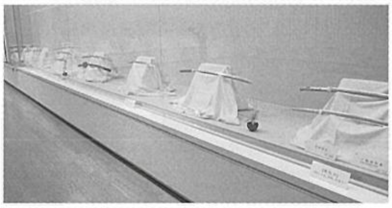
まずは、普及の一環として、来年度から活動日を増やす（毎月第3日曜日を追加）予定でいます。初心者でも大歓迎ですので、少しでも将棋に興味を持たれましたら、お気軽にお越しください。

担　当　清水支部長　　電　話　0475−23−3488
メール　mobarashogi@gamil.com

茂原刀剣研究会

日本刀は、武器としての役割を終えた今でも、凛然と輝く私たちの偉大な財産です。折れず曲がらずよく切れる、相矛盾するこの3つの要素の昇華を極限まで追求し、美術品としてまで完成させ、現代まで伝えてきた古人の熱い思いと努力に頭が下がります。

本会も、何よりも刀が好きという幾多の先人愛好家の地道な研究と、地域に開かれた定期的な鑑賞会を基本に、長い歴史をもって今日に至ります。定例研修会、県外研修、茂原市の文化祭刀剣展示が主な活動ですが、特に文化祭で展示される全ての作品は、長い刀剣史の象徴的価値と優れた芸術性を持ち、会員の不断の研究成果と鑑識眼の高さに支えられた展示は、地域の誇りと考えております。時代や作者の違いによる姿や形、刃文などの美しさ、澄んだ奥深い地鉄の輝きと働きなど、刀剣の総合美を是非多くの皆様に味わっていただきたいと願っています。



茂原市文芸協会

茂原市文芸協会は平成3年に設立され、翌4年には総合文芸誌としての、「文芸もばら」創刊号を発行しております。

会員は、市内及び近隣の町村にお住いの方です。現在の会員数は70名。文芸の部門別には、俳句・川柳・連句・短歌・現代詩・文章と、その他各種文芸同好会により組織されております。活動はそれぞれ月1回程の例会を開催、持ち寄り作品への合評により、文芸の力を高め合い、学びの時としております。その成果は茂原市文芸協会が毎年1回継続発行の「文芸もばら」にて発表しております。

今年は去る9月末に第32号の出版記念会を開催。同日催された茶会では会員外の方の参加も頂き文芸談義に花を咲かせました

茂原市洋舞協会

茂原市洋舞協会では、毎年茂原市文化祭に参加させていただき、DANCE　FESTIVALを開催しています。

今年度は11月10日（日）に茂原市東部台文化会館の音楽ホールにて第32回DANCE　FESTIVALを開催いたしました。午後1時30分から9団体130名が発表を行ない、会場も立ち見が出るほど大盛況で、およそ400人の方々が観覧してくださいました。

ダンスのジャンルも、ジャズダンス、アクロバットダンス、ヒップホップ、フラダンス、ベリーダンスと、多岐に渡り、団体毎に曲のイメージで合わせた衣装も見る楽しみのひとつとなっていました。

参加した方々からも「また来年参加させていただきます」と、声をかけていただきました。

茂原市三曲協会

文化協会加盟各団体のお名前を拝見しますとそれだけで何をされる団体かだいたい想像がつきます。

ところが、名前からは想像しにくいのが私たち茂原市三曲協会ではないでしょうか。

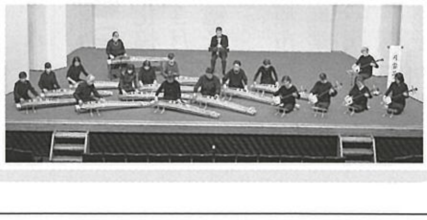
「三曲」ってどういうこと？

曲が3つあって、それをどうこうしようということではありません。

三曲というのは、地歌三味線（「三絃」）の音楽と、箏（こと）の音楽と、胡弓の音楽の総称です。つまり3つの楽器の曲ということで「三曲」です。

しかし、ご存じの方は尺八が入っていないと奇異に思われるかもしれません。

実は、江戸時代、尺八は虚無僧の独占楽器（法器）で一般人は吹いてはいけなかったのです。それが、明治4年に普化宗が廃止され、誰でも尺八を吹いて良いようになると、胡弓にとって代わって尺八が三曲の一翼を担うようになり、現在のように箏・三絃・尺八の楽曲を演奏する形になりました。



長生フイルム会 2025

2025年4月12日から4月27日まで茂原市立美術館・郷土資料館の1階第1展示室、2階市民ギャラリーをお借りして写真展「長生フイルム会2025」を開催いたします。

長生フイルム会は2005年に6人のフイルム愛好家が発起人となり立ち上げた写真クラブです。当時は既にデジタル画像全盛であり、数少ない同志で活動しておりましたが、徐々に賛同者は増え、現在は茂原市内外から35名の写真家が集まり、銀塩文化の継承を目指し日々活動しております。その1年の成果を「長生フイルム会2025」として発表いたします。今回は創立20周年のメモリアルイヤーでもあり、ぜひ皆様にご高覧いただきたくよろしくお願い申し上げます。

出展内容は会員1人3点の通常展示、A1パネルを使った企画展示、有志3名による個展、長生フイルム会青年部が開催した「フイルム体験ワークショップ」参加者の作品を展示いたします。総展示数180点を予定しております。全てフイルム写真です。学生から米寿のベテランまで幅広い年齢層の写真家が参加しており、視点や被写体も異なり、様々な作品が展示されます。まだまだ未熟ではございますが、会員たちの個性を感じていただけたら幸いです。

現在新規の会員は募集しておりませんが、定例会の見学は大歓迎です。写真展をご覧いただきフイルム写真にご興味を持たれた方は事務局までお問い合わせください。

茂原市文化協会視察研修

昨年に引き続き、茂原市文化協会の視察研修として、令和7年2月22日(土)「第35回文化芸術フォーラム」が開催される青葉の森公園芸術文化ホールへ行ってきました。

「未来へともにつなごう千葉の文化芸術」のテーマのもと、県内から4団体が出演し、演舞や演奏を披露しました。茂原市からは、文化協会加盟団体の「茂原シニアアンサンブル昴」が参加し、総勢約30名のメンバーがバイオリンやフルートほか、計14種類の楽器による合奏を発表しました。親しみのある楽曲として「明日がある」等のジャパニーズポップスメドレーをはじめ、楽団のテーマ曲でもある「昴」、特に「ヤングマン」はステージと観客が一体となって盛り上がり、会場からたくさんの拍手が送られました。

事業報告

◆**理事会**　令和6年4月9日（火）

■**議　案**
・評議員会の開催について
・評議員会提出議案について
・その他について
　文化協会会報第12号の作成について

◆**評議員会**　令和6年5月22日（水）

■**議　案**
・令和5年度事業報告について
・令和5年度決算報告及び監査報告について
・令和6年度事業計画案について
・令和6年度予算案について
原案どおり承認されました

茂原市文化協会加盟団体

団体名	団体名
茂原市音楽協会	日本郵趣協会茂原支部
茂原市美術協会	茂原写友会
茂原市書道協会	茂原市盆栽連合会
日本将棋連盟茂原支部	本納文化財顕彰会
茂原交響楽団	茂原市ハーモニカ協会
茂原陶磁研究会	音楽文化塾「赤い鳥」
茂原市文芸協会	茂原囲碁クラブ
茂原刀剣研究会	茂原混声合唱団「四季」
茂原市洋舞協会	茂原軽音楽協会
茂原市三曲協会	茂原市伝統郷土料理協会
茂原市吟詠協会	茂原舞踊協会
茂原市華道協会	茂原シニアアンサンブル昴
茂原市茶道協会	長生フイルム会

編集後記

令和6年度第25回文化芸術フォーラムが千葉市中央区にある青葉の森公園芸術文化ホールにて開催され、茂原市文化協会の加盟団体である「茂原シニアアンサンブル昴」が出演しました。

団体名の「昴」は、茂原七夕まつりの星をイメージして名付けられました。当日は、メロディー、リズム、ハーモニーの三大要素が合わさった美しい音楽が奏でられました。

文化協会会報も12回目の発行になります。加盟団体の地道な活動にご支援ご協力をお願いします。(K)

茂原市文化協会会報（第十二号）
編集・発行　茂原市文化協会
発 行 日　令和7年3月31日
代 表 者　細谷　菜穂子
事 務 局　〒二九七-八五一一　茂原市道表一
　茂原市教育委員会生涯学習課内
　Tel ○四七五(二○)一五五九
　Fax ○四七五(二○)一六○七
題　　字　細谷　菜穂子